

全国調査の実施状況について

○ 活動組織が行う共同活動への支援に係る交付金単価の検証等のため、活動量等の調査を全国規模で実施することとなった。
(令和4年8月10日付け農林水産省事務連絡)

1. 調査概要

<p>【調査1】活動量等調査(様式1、様式2) 調査対象年度:令和元年度 調査対象:203活動組織 報告期限:令和4年11月14日(調整前:令和4年10月31日) ※とりまとめ中 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動記録による活動量の把握(様式1) ・金銭出納簿による活動量の把握(様式2)
<p>【調査2】発展的活動量等調査(様式3、様式4、様式5) 調査対象年度:令和元年度 調査対象:101活動組織 報告期限:令和4年11月14日(調整前:令和4年11月28日) ※とりまとめ中 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金を利用しない活動の把握(様式3) ・交付金を利用しない活動経費の把握(様式4) ・個人畦畔の草刈り、その他個人対応となっている活動の把握(様式5) ・北海道独自の取組の実施状況の把握(様式5_独自追加)
<p>【調査3】多面的機能支払交付金にかかるアンケート調査(様式6) 調査対象年度:令和4年度(8月末時点) 調査対象:103市町村 報告期限:令和4年9月30日 ※9/30農林水産省報告済 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農用地の維持及び加算措置の現状を把握するための調査

2. 今後のスケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第2回検討会				本日 ↔				
第3回検討会				↑				開催予定 ↔
全国調査【調査3】	← 調査依頼	→ 調査報告	→ (第2回検討会で報告)					↑
全国調査【調査1】【調査2】	← 調査依頼	→ 調査報告	→			→ (第3回検討会で報告)		↑

余白

事務連絡
令和4年8月10日

各地方農政局農地整備課長
沖縄総合事務局農村振興課長 殿
北海道農整備農村設計課担当課長

農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室長

多面的機能支払交付金制度の全国調査の実施について

平素より多面的機能支払交付金の推進にご理解ご尽力いただき誠にありがとうございます。

多面的機能支払交付金制度の見直しに際し、活動組織が行う共同活動への支援に係る交付金単価の検証及び予算執行調査の指摘を踏まえた対応等のため、活動組織が行った共同活動の活動量等の調査を全国規模で実施する必要があります。

つきましては、別添一覧「調査対象組織（市町村）および対象調査」に示す組織に対して調査を行うことといたしますので、管内都府県を通じて推進組織等へ協力を依頼するとともに、管内都府県および市町村への調査を依頼し、調査票に対する回答を期限までに提出するようお願いいたします。

記

1 調査概要について

(1) 調査対象：別添一覧「調査対象組織（市町村）および対象調査」のとおり

(2) 調査内容：下記のとおり（調査詳細は各調査の実施要領参照）

調査1 活動量等調査 【様式1、2】

（活動記録、金銭出納簿の転記（コピー&ペースト）で回答可能）

調査2 発展的活動量等調査 【様式3、4、5】

調査3 多面的機能支払交付金にかかるアンケート調査 【様式6】

調査4 知事特認農用地の現地調査 【様式7】

(3) 調査対象年度：【様式1～5】令和元年度

（【様式6、7】は調査時点で回答）

(4) 報告様式：各調査のとりまとめ様式（様式1～2等）または、様式7

2 提出先・提出期日

提出期日：	様式6、調査4対象組織	<u>令和4年9月30日（金）</u>
	様式1、2	<u>令和4年10月31日（月）</u>
	様式3、4、5	<u>令和4年11月28日（月）</u>
	様式7	<u>令和4年12月26日（月）</u>

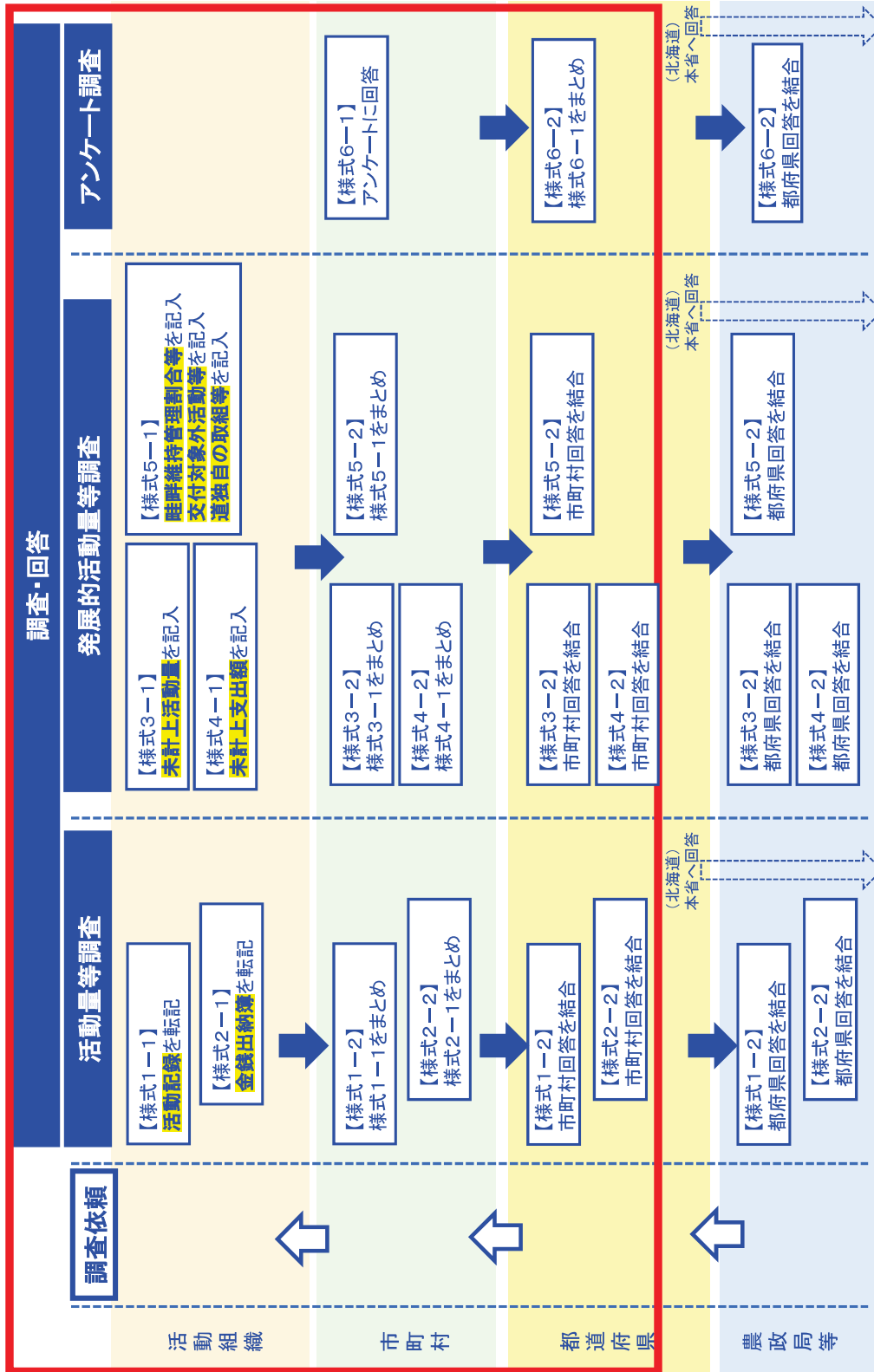
提出先： 下記事務担当

3 その他

- 各局等で各活動組織からの提出された調査表（様式1－1等）も回収し、本省へ提出してください。なお、提出の際には、ファイル容量が大きくなるため、メール添付ではなく、大容量ファイル転送システム等を用いて提出してください。提出はとりまとめ様式（様式1－2等）と同時である必要はありませんが、提出漏れのないよう留意してください。
- 調査4については、調査対象活動組織を、令和4年9月30日（金）までに決定し、提出先に回答してください。その後、提出先から調査対象の確定の連絡を受けてから調査を実施してください。

事務担当・提出先 多面的機能支払推進室 飯野、近藤
(電話) 03-6744-2447
(メール) 飯野 tsukasa_ino120@maff.go.jp
近藤 riku_kondo940@maff.go.jp

全国調査(活動量調査等活動組織回答調査)の調査の流れ



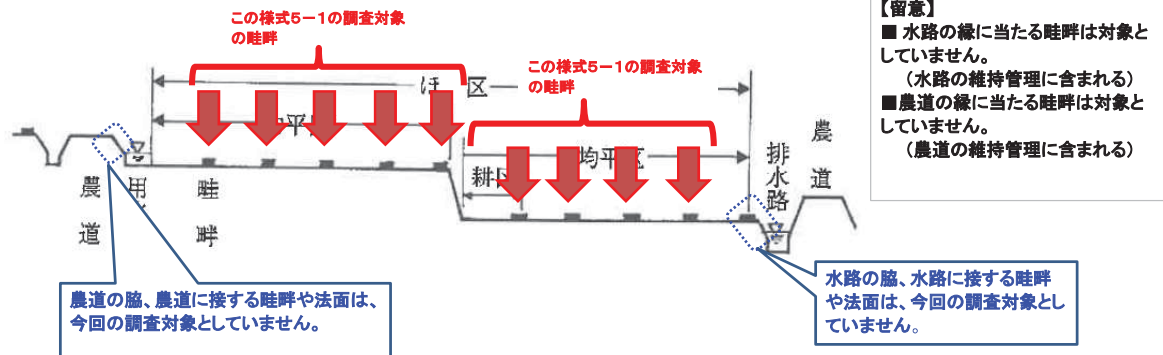
余白

様式5-1 (※<項目1>と<項目2>と<項目3>があります。)

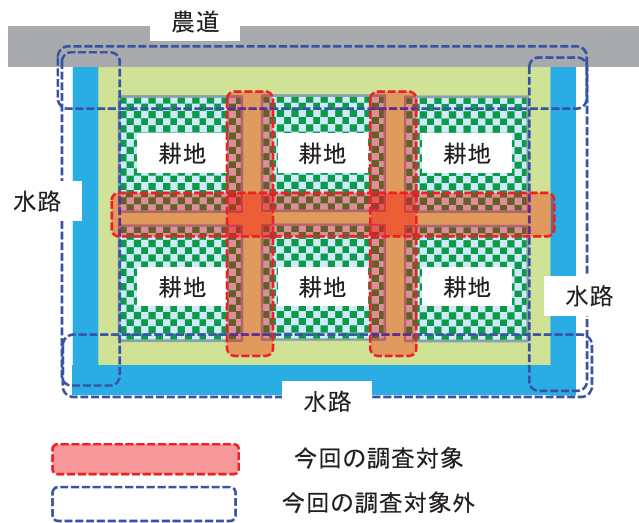
<項目1> 畦畔の維持活動について

↑ 回答コピー用セル

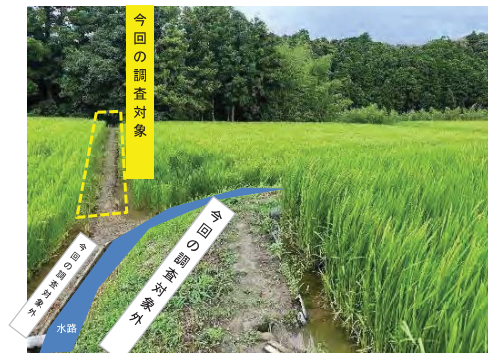
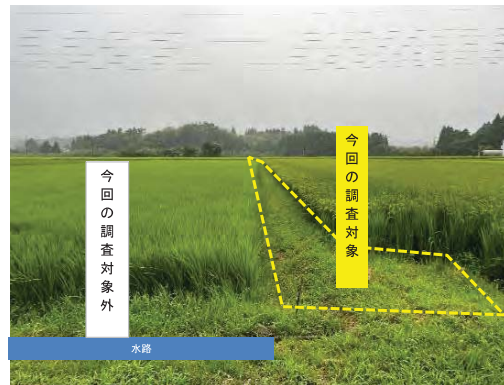
※ ここでいう「畦畔」とは、農地の境となっている畦畔のみを指し、下図に示す部分の畦畔を指しています。



例) 上から見た図



例) 写真



質問1. あなたの活動組織では畦畔の維持活動を行っていますか。

■
↑ 回答コピー用セル

どれか1つ

	「はい」の場合←左のセルに■を記入	
	「いいえ」の場合←左のセルに■を記入	※「いいえ」なら質問4へ
↑ 入力 エラー		

<質問1で「はい」の場合に回答>

質問2. あなたの活動組織では畦畔の維持活動は、活動記録として計上していますか。

どれか1つ

	「計上している」の場合→左セルに■を記入	※様式1-1に含まれていることを確認してください。
	「計上していない」の場合→左セルに■を記入	※様式3-1に該当の作業を記載してください。
	「計上している部分と計上していない部分もある」の場合→左セルに■を記入	※様式1-1に記載されていることを確認し、様式3-1にも該当作業を記
入力OK		

質問3. 各活動項目の全体にかかる時間のうち、畦畔の維持活動にどの程度の時間がかかっているか、全体にかかる時間のうち想定される割合をお答えください。0%でも記入してください。

<活動記録に記載している部分>

活動項目	全体にかかる時間	↓ 記入不要	
		畦畔の維持活動にかかる時間の割合(%)	畦畔の維持活動にかかる時間
5 畦畔・法面・防風林の草刈り	#REF!		#REF!
24 農用地の機能診断	#REF!		#REF!
30 農用地の軽微な補修	#REF!		#REF!
			#REF!

<活動記録に未記載の部分>

活動項目	全体にかかる時間	↓ 記入不要	
		畦畔の維持活動にかかる時間の割合(%)	畦畔の維持活動にかかる時間
5 畦畔・法面・防風林の草刈り	#REF!		#REF!
24 農用地の機能診断	#REF!		#REF!
30 農用地の軽微な補修	#REF!		#REF!
			#REF!

<質問1で「いいえ」の場合に回答>

■
↑ 回答コピー用セル

質問4. 畦畔の維持活動を行っていない理由は何ですか。該当する理由があれば1つに■を記入してください。該当する理由がない場合は、具体的に記述式にてご教示ください。

どれか1つ

	← 個人個人で実施しており、共同活動としていないため
	← 対象外の活動だという認識のため
	← そこまで多面の活動として加える余裕がないため
	← 上記以外の理由
入力OK	

↓↓↓↓↓↓(上記以外の理由を選択した場合)入力必須。具体的に記載してください↓↓↓↓↓↓

具体的に記述

入力OK

↑ 畦畔の維持活動に関する調査項目はここまで

↓ここからは全般的な多面的機能支払対象外である活動に関する調査項目

＜項目2＞ 多面的機能支払対象外活動について

質問5. 活動組織で実施したが、多面的機能支払交付金の交付対象外の活動・作業だが、交付対象とすべき活動について、下記表に記載する形で教えてください。(時間や人数は、可能な限り実績に基づく数値で記載してください)

例えば、様式3-1に記載の活動項目1～66のいずれにも該当せず、都道府県独自追加の活動項目にも該当がない活動や作業だが、農地を維持管理するほか、多面的機能の発揮を促進するための活動として実施している活動・作業を教えてください。

	具体的な活動・作業内容	年間総活動時間(時間)	1回あたりの平均参加人数(人)	人・時間/年
0	(記載例)〇〇をするときの◇■作業	90.0	3	270
1				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0
				0

※行が足りない場合は、上の行を行ごとコピーしてここより上に挿入して追加してください。

↓ここからは道独自の取組に関する調査項目

＜項目3＞ 要綱基本方針(R元時点)に定める北海道独自の取組について

質問6. あなたの活動組織では要綱基本方針に定める北海道が独自に追加した取組を実施していますか。

■
↑ 回答コピー用セル

どれか1つ

□
↑ 入力エラー

「はい」の場合←左のセルに■を記入 ※「はい」の場合、質問7へ

「いいえ」の場合←左のセルに■を記入 ※「いいえ」の場合、質問は以上です

質問7. 実施している北海道が独自に追加した取組について、取組番号及び取組内容を教えてください。

取組番号	具体的な取組・作業内容
30	(記載例)融雪剤の散布、附帯施設の補修・設置

入力OK ※行が足りない場合は、上の行を行ごとコピーしてここより上に挿入して追加してください。

多面的機能支払交付金 全国調査

多面的機能支払交付金に関する アンケート調査

都道府県名	
市町村名	

I	農用地の維持における交付金の効果検証について教えてください。
問1	活動組織が保全管理していた（または、保全管理している）対象農用地について、5～10年後に農業生産が行われないうなど、遊休化する恐れはありますか。

- 対象農用地では遊休化が発生しないと考える
- 対象農用地のうち5%未満で遊休化が発生する恐れがある
- 対象農用地のうち5%～15%で遊休化が発生する恐れがある
- 対象農用地のうち15%以上で遊休化が発生する恐れがある

いずれか1つを選択してください

問2	活動組織が保全管理していた（または、保全管理している）対象農用地について、5～10年後に農地が減少する恐れはありますか。
----	--

- 対象農用地では農地が減少しないと考える
- 対象農用地のうち5%未満の農地が減少する恐れがある
- 対象農用地のうち5%～15%の農地が減少する恐れがある
- 対象農用地のうち15%以上の農地が減少する恐れがある

いずれか1つを選択してください

問3

水路や農道の草刈り等の保全管理作業に参加される方は確保されていますか。また、5～10年後はどうかと思われるか。該当するものにチェックをつけてください。

(現在)

- 十分に確保されている
- 確保されている
- 不足する場合がある
- 不足している
- 作業が行えず農業に支障が出ている

いずれか1つを選択してください

(5～10年後)

- 十分に確保されている
- 確保されている
- 不足する場合がある
- 不足している
- 作業が行えず農業に支障が出ている

いずれか1つを選択してください

問4

水路、農道、ため池などの農業用施設の管理状況について教えてください。また5～10年後はどうなっていると思われるか。該当するものにチェックをつけてください。

(現在)

- 管理の粗放化、施設の機能低下は進行していない
- 管理の粗放化、施設の機能低下はあまり進行していない
- 管理の粗放化、施設の機能低下が進行している
- 管理の粗放化、施設の機能低下がかなり進行している

いずれか1つを選択してください

(5～10年後)

- 管理の粗放化、施設の機能低下は進行していない
- 管理の粗放化、施設の機能低下はあまり進行していない
- 管理の粗放化、施設の機能低下が進行している
- 管理の粗放化、施設の機能低下がかなり進行している

いずれか1つを選択してください

問5

貴市町村において、農地・水・環境保全向上対策、農地・水保全管理
支払、多面的機能支払を過年度に実施しており、活動期間が終了後に活
動再開せずに解散した活動組織はありますか。

- 有
- 無

「有」「無」どちらかをお選びください

※問5の回答が「有」の場合は、続いて問6～7の設問にご回答ください

問6

問5に該当する活動組織における活動終了年度をお答えください。

リストから選択してください

↑リストから選択してください

問7

問5に該当する活動組織が保全管理していた対象農用地について、現
在荒廃農地や未利用地は発生していますか。

- 有
- 無

「有」「無」どちらかをお選びください

II	<p>交付単価の加算措置について （貴市町村の活動組織の状況全般についてお答えください）</p>
問1	<p>加算措置「更なる増進※」に<u>取り組まない理由</u>をお答えください。 （複数選択）</p> <p>※多面的機能の増進を図る活動に取り組んでいる活動同組織が、新たに活動項目を選択し、1活動項目以上追加する場合又は初めて多面的機能の増進を図る活動に取り組む組織が2活動項目以上選択して取り組む場合、資源向上支払（共同）に単価の加算を行います。</p>

- 増進活動の活動項目を増やしたいと思わない
- 加算措置の金額が小さい
- 加算措置を受けるための条件がわかりにくい
- 加算措置の存在を知らない
- 全ての組織が取り組んでいる

回答を選択してください

問2	<p>加算措置「農村協働力の深化※」に<u>取り組まない理由</u>をお答えください。（複数選択）</p> <p>※加算措置「①多面的機能のさらなる増進に向けた活動への支援」を受ける活動組織において、農業者以外の者の構成比率が高く、また多くの参加を得た共同活動が毎年行われる場合、①に更に単価の加算を行います。</p>
-----------	---

- 加算措置の金額が小さい
- 加算措置を受ける条件である加算措置「更なる増進」に取り組んでいない
- 加算措置を受けるための条件がわかりにくい
- 加算措置の存在を知らない
- 全ての組織が取り組んでいる

回答を選択してください

問3	<p>加算措置「広域化・体制強化※」に<u>取り組まない理由</u>をお答えください。（複数選択）</p> <p>※活動組織の広域化・体制強化への支援を強化するために、広域活動組織の面積規模等に応じた交付額とするとともに、最長5年間（当該活動期間中）にわたって継続的に支援することとします。</p>
-----------	--

- 活動組織の広域化をしたいと思わない
- 加算措置の金額が小さい（事務委託・事務員の雇用ができない）
- 加算措置を受けるための条件がわかりにくい
- 加算措置の存在を知らない
- 全ての組織が取り組んでいる

回答を選択してください

Ⅲ	都道府県、市町村等による事業の推進を支援するため多面的機能支払推進交付金があります。その推進交付金について教えてください
問1	多面的機能支払推進交付金で市町村が行う市町村推進事業の令和3年度実績報告書における市町村推進事業の経費の配分の金額（単位：円）を転記ください。

(単位：円)

区分 事業項目	対象経費					市町村推進事業に 要した経費
	旅費	諸謝金	委託費	事務費	交付金	
市町村推進事業 (1)+(2)+(3)+(4)						
(1)促進計画の策定					/	
(2)推進・指導等						
(3)実施状況の確認 事務					/	
(4)その他推進事業 の実施に必要な事 項					/	

記入してください

問2	問1で記載した「市町村推進事業に要した経費」の負担区分毎の金額（単位：千円）を転記ください。
-----------	--

(単位：千円)

市町村推進事業に要した経費	負担区分		
	国費	都道府県費	市町村費

入力してください

アンケートは以上です。回答お疲れさまでした。